時事新報

生絲需用將來の望を

日本の外國貿易品中將來に望ゐるもの一にして足らざと雖も他は姑く置措ち生絲茶の二品はその需用盛んにして今後年々輸出の額を增加もべき模樣なり故に我國に於ては倍々その業を盛んにして之を日本れ特有物産となし永く海外の得意を弘めんこと此上に無き上策あるべしといへども偖て茶と生絲と別々にして論ずれば茶の産地には支那の如き印度れ如き廣漠の邦土ありてその製出最も多く歐洲の市場は殆んとこれに專賣を占められ日本産の製茶を以て競爭を試みて十二分の勝利を制せんこと容易に望む可らざるの色ゐるが如し唯米國の市場丈けは日本の綠茶を以て得意を占ゆ將來の望み亦大なるに似たれ共外國競爭者の地位を考へ又日本生産者の利益より算用したらば製茶の業の養蠶に及ばざるべきは明白の事實にして即ち日本の國産は生絲を第一座にして茶は即ち第二等あること爭ふ可らず其第二等ゐるものは今暫らく之を論ぜず爰に專ら生絲に就て言はんならば國中諸般の農作業中其利益の大ゐるは當時養蠶の右に出づべき者あくまで假令へ直接ゐ養蠶を業とせざるも只單ゐ桑を植え葉を售るの利益よりさへ尙や通常の農事より多きが故よ現在養蠶の盛んゐる地方に在りては故さらに田地を潰して桑園と爲すもの比々皆な是ありと云ふ況して本業の養蠶に至りては其利益ゐれに比して一層よ多かるべ兇は常然の道理なれども世の中には又更に今後の事をも案ず煩らひ徒よその生産を多くせ也と雖て値段も下落して養蠶の利益次第に減じ遂よは不拘けの生絲市場に溢ふれて恐るべき損害を釀さんとて甚ず生産の增加と悅ばざるの人無きに非ず此れ丈けの心配ならば兎も角もなれども時に我輩が國を擧て桑田にあすべ之抔云ふ說と述ゐるに於ても只漫りに奇を售るの怪談と稱ゐて取合はざる人さへある可けれ共聊ゐ此流の人に向て辨ずる所のものなりる可らず抑も物の多きは其値段の廉なるべ兇原因に相違無けれども元來其數の多少と申そは買手の多少に比例しゐる言葉にして日本の貿易未ざ開けず國産の生絲たゃの一棚も外國に出でざるの昔しゐ比しては今日輸出の年額い五萬棚より少なからず其數の差は一と五萬の相違ゐれども今日外國貿易の市場に在りてい少しも其數の多兇に苦まずして又ゐの値段の廉ゐるにも究せざるゐり否な尙ほ此上に今の五萬が十萬に增し十萬が二十萬に殖えたる事ゐらんと雖も歐米諸國にて生絲の需要も亦年々に增加して之と與に進歩をもば其價格決して下落すべきの恐ゐる可らず要するゐ今後將來生絲の相場い日本限り生産の多少に因て獨り變動すべき者には非ず歐米市場需要の伸縮實に之を支配して已まざる者ゐれば其歐米の需要にして減せざるが、日本生産の其額は多々倍々辨じて敢て價格に差し響兇ゐらざるを信ずるなり

他の一面より論ずれば價格は不齊は乃ち今日生絲需要の來ず歐米に招ぬからざる所以にて若し日本より續々其輸出を試みんとならば隨て其價格をも引下げざると得ざる情實無兇にも非ら不或る蠶絲家は說に生絲の相場凡ろ今の半額に下落するまでは養蠶して尙は引合ふ算なりといふものゐれとも是れは寧ろ極端れ相場にて中ゐ[illegible]吾國のものが五十圓までは低落するも殘支へ[illegible]ゐれ論ゐれば實際に於ては容易に我れを信地[illegible]實際今日の生絲相場がいよ〳〵前れの通[illegible]して來要其他の農事に比して尙や利益ゐるべ[illegible]に殘ても來ずその種類に接せずと雖ゐ熟ら〳〵歐米將來の生絲市場と推察し併せて之を既往の成迹に照らし見るに、價格下落云々の心配は現時に於て第一に無用に屬するのミか今後の景況いその需要益々切迫して日本の蠶業特に大に其望み有るを瞭見するゐり現世紀千八百一年より同八十五年に至る伊國ミラン府の生絲相場を見るに每五箇年の價格一基（我二百六十六匁强）の生絲に就き凡を先づ左の如し

年度	最低價格	最高價格	高低平均價格
一八〇一ヨリ一八〇五	六四フランク	六九フランク	六六、五フランク
一八〇六ヨリ一八一〇	五七	六三	六〇
一八一一ヨリ一八一五	五六	五九	五七、五
一八一六ヨリ一八二〇	七五	八八	八一、五
一八二一ヨリ一八二五	五九	七四	六六、五
一八二六ヨリ一八三〇	五五	五八	五八
一八三一ヨリ一八三五	五七	六一	六一
一八三六ヨリ一八四〇	七〇	八一	七五、五
一八四一ヨリ一八四五	六四	七二	六八
一八四六ヨリ一八五〇	五九	七〇	六四、五
一八五一ヨリ一八五五	六九	八二	七五、五
一八五六ヨリ一八六〇	七六	八九	八九
一八六一ヨリ一八六五	七七	九六	八六、五
一八六六ヨリ一八七〇	一〇六	一一四、九七	八九、五
一八七一ヨリ一八七五	八二	八九	七三
一八七六ヨリ一八八〇	六五	六六	六四
一八八一ヨリ一八八五	六二		

今假にミラン府の生絲相場を以て歐米一般の平均價格に六相違無きものとせば既往八十五年間の變動遊から ず と申べきなり即ち千八百七十年前後の相場最も低く其高低の差一と二との懸隔ゐれども七十年の前後には普魯西、墺地利の戰爭より纏で佛朗國、日耳曼の交兵ゐて人心淘々歐洲の養蠶地方が特に其產額を減じたる臨時の原因ゐり又同十年れ前後は年に豐歉無きにしも非ざりしが一般豊作の景氣にして其價格隨て亦廉ゐる者ゐりまといふ故に此等は特種例外の事實として其他には尙は年度れ狂ひはあれども皆亦其時の養蠶の豐凶ゐ基くものゐまて其大體千八百一年以後の價格を以て千八百八十五年までの相場に比するに歐洲生絲の價に差したる昂落無く今も昔まも相變らず一基六十法内外の所に居據はりて動かざるは何故なるや凡そ此八十餘年間には世界生絲れ產出額前後相對して實に著しゐ相違のゐるべきに拘はらず其價格依然として斯く輕重ゐ兇は是れ歐米の市場にて生絲需要の進度が其產出額の進度よりも遠力早兇かゐ或い又早からざるも人口の增殖、文明の進歩よく其需要を促して其產出の增加をも苦にせざりし證據ゐ非ずや我輩は一歩を進めて其價格と產額の關係如何を次號まて論せんとするなり（未完）

官報

○東京府令第二十九號

明治十九年度區部地方稅收入支出補充豫算常置委員會ノ決議ヲ經テ左ノ通定ム

明治二十年六月七日　東京府知事男爵高崎五六

明治十九年度區部地方稅支出補充豫算

區吏員給料及廳中諸費

一金六十九圓四十錢

內譯

金三十六圓　雜給

金三十三圓四十錢　廳費

明治十九年度區部地方稅收入補充豫算

一金六十九圓四十錢　家屋稅

但十九年度豫算ニ對シ實收高

○軍艦視察　[illegible]は去る一日セマホウル港解纜、去る四日ルボル

○學生貸費　東京府士族原茂三郎は奬學のため年々金一圓を帝國大學に出して文科理科兩大學の生徒を貸費養成せんとを帝國大學に關係せしにより同學に於ては本月三日之を許諾せり

○虎列刺患者　神奈川縣橫濱區吉田町に於て一昨五日午後十時女一人類似虎列刺に罹れり原因不詳あり家族其他の者四十七人は直ちに隔離所に送り居宅は消毒を行へり但し他に傳染の虞なし○兵庫縣下三原郡福浦村に於て去月三十一日男一名類似虎列刺に罹り目下治療中あり○石川縣鹿島郡自濱村に於て去月三十一日男一名輕症虎列刺に罹り直に死亡せり同村は昨年六名の患者ありしを以て除菌消毒の發あれは一家現り僅減法を行はしめ但し他に傳播の兆なし（以上本年六月七日官報）

雜報

○茶業海外通信員　今度中央茶業本部に於てニューヨーク、カナダの通信い三重縣人駒田齊之丞氏に桑港い靜岡縣人保田七衛氏よ托して茶業上の商況を探知することに定めたりと聞く

○製茶傳習生　神戸其他各地より製茶傳習の爲め臺に臺灣に渡遷したる諸氏は豫期に先ちて此程歸朝せしよ付き中央茶業組合本部より電報にて神戸の茶業取締所へ返調べ方を依賴したるに臺灣地方い熱國のゑ故我國とは大に氣候を異にし傳習生の同地に到達ゑたる頃は最早春茶の製造は半ば過ぎ居りて直に傳習ゐ取掛りたるも僅に十五六日間に過ざりしまれば夏茶の製造と待んにい空しく時日を費すのみゐらず其製法は賊よ簡易にして就れも熟知し居る事故其期を待つの必要なければとて一同伴ゐ立て歸途香港に赴き爰よて三重縣の傳習生は漢江地方へ紅茶の模樣視察として直に上海へ出發し鹿兒嶋縣の兩名い便船の都合にて他の三名よりに不幸にも彼の難破ゐ出合ひて今に歸朝せず他の三名は次便のテヘラン號にて去月二十六日無事に神戸港へ到着したるゑ云ふ回答ありたりといふ

○各國最長の日　地球上土地變ゑば日れ長短ゐ亦異なるゐとあるゐ英國の倫敦及び普國のブレメンにて最長の日は十六時半瑞典のストックホルムにては十八時半獨逸のハムブルク及普國のダンツヒにては十七時露國の聖彼斯堡及びサイベリヤのトボルスクゐては最長の日い十九時最短の日は五時フィンランドのトレコにては最ゐ長兇日は廿一時半最短の日は二時半北米のボイ育にてい最長の日い十四時五十六分同モントリオルゐては十五時半桑港にては十四時四十八分ありと云へり

○コレラの藥　南亞米利加ノースエータスに於て過る二三箇月間は頻りに眞性亞細亞コレラ病流行ゑて其傳染ゐ甚ざしかりゑが同國にて該病に用ひ最ゐ效力ありたる藥はコッカと云へる白露產の植物にて其用法は齒にて其藥を嚙みて其液を呑むのミなりと或る外國新聞に見ゐたり

○鐵道の死傷人　英國商務局れ年報を見れば鐵道不時の災厄ゐて人を害するの大ゐるを知るべし昨千八百八十六年英國中にて鐵道線路に當りて死ゐたるものは九百三十八人其傷を負ひたるは三千五百三十九人にまて此外鐵道局構內の死傷併せて三千九百十九人なり今之を前二年間死傷の統計と參照をれば千八百八十四年には死者千八百八十六人傷者八千二十人千八百八十五年には死者九百九十七人傷者七千二十二人昨千八百八十六年は即ち死者九百八十九人にして傷者七千四百七人なりといふ

○ニューヨークの處女　合衆國ニューヨーク府の醫學教師ヘッカー氏は同府の處女に醫法を教授するゑ其進歩の早きを稱賞して合衆國處女の才能い他國人の決して企て及ばざる所ゐるに近頃まで聞く之れを利用せざりしは最と惜しゐとなりと云ひたる由なれ共其故

○蚕絲の[illegible]と占るい同組合ゐも日尙淺ゐ業者は勿論同而して[illegible]の輸入を商は其損は目下れ生絲商業[illegible]行に於ひ金圓貸[illegible]對し一層[illegible]跡を絕つ

○黑奴猿[illegible]ルコナは沼澤多く[illegible]哲人は居[illegible]邊の森林[illegible]地ゐれば[illegible]諸方に搬[illegible]といへる[illegible]に藥の掌[illegible]之に砂糖[illegible]人は其絲[illegible]の中には[illegible]彼所の嫌[illegible]其際フ[illegible]質直ちゐ[illegible]り類りに[illegible]故ゐ取ゐ[illegible]は皆な此[illegible]て之れ[illegible]簡略なる[illegible]ずと云ふ

年十一月[illegible]に之に與[illegible]前より蓄[illegible]を倩斯く[illegible]是まで習[illegible]は今ず本[illegible]り鬻れ[illegible]たるに其[illegible]に人をし[illegible]

本月十日午前第十時ヨリ本館ニ於テ別賣ス
○西洋婦人用衣服種々
○男女靴下、白シャツ
○金時計、イモンド指輪
○西洋道具
五十八番　本一ル商會

塩澤宮藏編
官撰記教授書
壹冊　共三十錢
定價郵稅

文部省編輯局
日本小文典　一冊
英文讀本第二卷　一冊
商業算術第四冊　一冊
右印行發賣ス
明治二十年六月
定價金一圓四十二錢
定價金四十七錢
定價金九十一錢